

皮膚・排泄ケア認定看護師

在宅の現場に向き合い続けたWOCナースが伝える

在宅環境での褥瘡ケアに必要なこと

連携の構築 & ケア内容の最適化

在宅において褥瘡ケアの重要性が高まる中、病院で実施していた褥瘡ケアを在宅環境でうまく継続できないことに課題を感じる人が増えています。しかし、病院と在宅では患者・利用者の状態や生活環境が大きく異なるため、病院での最適なケアが在宅でも最適とは限りません。在宅では利用者の生活環境を深く理解した上での、在宅ならではのケアが求められます。

病院と在宅、それぞれの環境における看護師の想いと互いの課題を知り、理解を深めていくことが、在宅での褥瘡ケアのレベルアップにつながります。このセミナーでは、病院と在宅にそれぞれ所属する2人のWOCナースが、お互いの立場から連携やケアのポイントを解説します。

病院でも在宅でも、聞いてすぐに活用できる考え方と技術を、明日からの褥瘡ケアに役立ててください。

司会



中川 雅裕 先生
浜松医科大学
形成外科 特任教授

退院支援WOCナースの 立場からみた在宅との連携



阿部 由紀子 先生

地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立大久保病院
皮膚・排泄ケア認定看護師

病院での退院支援には、在宅に適した褥瘡ケアを無理なく継続できるようにサポートすることを入院時から考えなければなりません。退院後の環境ではできないケアがあるならば、その環境でどこまでならできか・何を調整する必要があるのかを在宅医療者・介護者とともに丁寧に考える必要があります。退院支援を担うWOCナースの立場から、どのような点を考慮し実践しているかをお話します。

在宅環境における褥瘡ケア



山口 みどり 先生

なごみ訪問看護ステーション
皮膚・排泄ケア認定看護師

在宅看護では、利用者の住宅環境や家族の協力体制などが一人ひとり大きく異なるため、それらの環境を踏まえ、無理なく継続できる褥瘡ケアを考え実践する必要があります。日頃から保険制度や衛生材料を活用しながら、在宅で継続可能な褥瘡ケアを意識しています。訪問看護師がどこに視点をあてケアに取り組んでいるか実践に即した内容をお伝えします。

申込者
限定

セミナー資料を後日ご提供！

セミナー資料提供は、第25回褥瘡学会学術集会に参加しない方も申し込みいただけます。

お申し込みは
こちら



お申し込み締切：2023年 8月末

https://lp.skinix.jp/20230606_jspu_seminar_pre.html

セミナー詳細

第25回日本褥瘡学会学術集会 ランチョンセミナー4

日時 2023年9月1日 (金) 11:50~12:50

オンデマンド配信

会場 神戸国際展示場2号館3階 3A会議室 <第4会場>

2023年9月上旬~10月末 (予定)



共催 第25回日本褥瘡学会学術集会
skinix (スキニックス)

テーマが医療にできること、もっと。

skinix®
www.skinix.jp

株式会社 共和 メディカルグループ

大阪本社:〒557-0051 大阪市西成区橋 3-20-28
TEL:06-6658-8217
FAX:06-6658-8101

東京本社:〒135-0016 東京都江東区東陽 5-29-16
TEL:03-5634-3843
FAX:03-5634-3845

※セミナーの視聴には、第25回日本褥瘡学会学術集会への参加登録が必要です。本セミナーは事前登録制です。学術集会ホームページより事前にお申し込みください。なお、定員になり次第受付終了となります。<先着350名様 (予定)>
【*整理券はセミナー開始5分後に無効となります。】

※セミナーの詳細は変更されることがあります。